

## 各委員会・分科会での主な審査概要

### 決算特別委員会

令和3年度一般会計と特別会計の決算を認定

9月14日に決算特別委員会を開催し、総務企画分科会、文教民生分科会、産業建設分科会の3分科会を設置し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の決算額は、歳入330億6499万8332円、歳出316億9807万7814円で、歳入歳出差引額は13億6692万518円。全特別会計の決算額は、歳入148億1522万383円、歳出144億3767万6854円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。

#### 【一般会計決算総括】

実質単年度収支について能代火力発電所の設備投資等に伴う固定資産税の増や、国税収入の補正等に伴う普通交付税の追加交付等による財政調整基金繰入金の減が、3年ぶりに黒字となった主な要因と捉えている。しかし、中長期的には人口減少等の影響により、市税や地方交付税の減が見込まれるため、今後も一般財源の確保に努めていく必要があると考えている。

#### 【北高跡地活用調査】

北高跡地の整備については、非常に様々な意見があることから、中心市街地の活性化も含め、住民が主体となって話し合い、考え続ける、思考継続型プロジェクトとして取り組んできた。

一般の方や高校生によるワークショップにおいて取り組んでみたいとして提案されたアイデアのうち、宿泊体験や高い場所からの展望の実施に向け、現在進めている。恒常的な建物の建設を現時点で決めてしまうのではなく、様々な方向性を市民と共に検討する中で利活用の可能性を見いだしていきたい。

#### 【移住定住環境整備】

新型「コナ」の影響により、移住相談会や体験ツアーのキャンセルなど思うように事業を実施できなかつたものの、市への相談を経由して移住に至った世帯数は30世帯となり、事業開始後において最多となった。これに伴い、若年世帯移住定住奨励事業の奨励金交付実績においても前年度比で4件増の17件となった。

#### 【保育士確保への取組】

保育士等就労奨励金において、3年度は12件の支給実績があった。今後も当該奨励金のほか、保育士の子供を入所させる場合の選考上の優先措置、保育士の復職就労に向けた研修会の実施

等により、確保に努めていきたい。

#### 【子育て支援の充実】

「コナ」禍における子育て世帯への支援として、対象児童1人につき、子育て世帯臨時特別給付金事業により10万円を、さらに対象となる場合は子育て世帯生活支援特別給付金給付事業により5万円を支給した。また、新たな事業として、一時的に子供を養育することができない保護者の方のために、ショートステイ事業を開始した。

#### 【事業目標に対するデュアルシステム事業や高校生就業支援セミナーなどの効果】

高校生の能代山本管内就職率50%を目標として進め、3年度の管内就職率は54%台となり、目標を達成した。

#### 【がんばるのしろの商い応援事業費（新型「コナ」対策）の誘客効果】

種苗交換会の開催期間中に畠町大通りを歩行者天国にして様々なイベントを行ったり、商店街独自の商品券を発行するなど6事業を実施し、2年度よりブラッシュアップした内容となったため、多くの誘客が図られたと考えている。

(鍋谷 暁)